

会 議 録

会議の名称	行田市在宅医療・介護連携推進協議会 普及啓発・研修合同部会	
開催日時	令和7年11月13日(木) 開会：18時30分 閉会：19時30分	
開催場所	産業文化会館 第2会議室	
出席者(委員)氏名	松井毅、寒河江涼太、宮原愛、高松真由美、増田和世、平野輝利人、山岸克也、今井和則、加藤里美、川島治	
欠席者(委員)氏名	荒木宏、矢那瀬淳一、青木和宏、藤村幸子、新井竜、近藤慶一、堀内規、小林永治、江黒徹、河野真也、出雲秀章、前田千穂、島田由紀子、浅見純一	
事務局	行田市高齢者福祉課地域包括ケア担当 機能強化型地域包括支援センター緑風苑	
会議内容	1.各部員紹介 2.「行田人」第24号の内容について 3.「行田人」第25号について 4.「薬剤師を知る」～薬の力をチームの力へ～ 5.来年度の研修について 6.2部会活動での意見等、次回の会議開催について	
会議資料	次第 「薬剤師を知る」～薬の力をチームの力へ～アンケート結果	
その他必要事項		
主宰者記名	会議録の確定	
	松井 毅	平野 輝利人
		山岸 克也
確定年月日	令和8年1月8日	



#### 4. 「薬剤師を知る」～薬の力をチームの力へ～

##### (1) アンケート結果について

グループワークの時間が短いという意見があったので、今後は調整を考える。薬剤師から見て、薬に関して分からないことがこれほどあったのかという印象だった。どの部分について知られていないか把握ができてそれに対して説明ができたことは良かった。今後は薬剤師にもっと相談をしてほしいと感じた。

#### 5. 来年度の活動について

専門職からだけではなく、介護サービスの利用者側からの視点での内容はどうか。他には、多職種が関係している事例などを踏まえた情報提供などはどうか。

これまでは医療側から介護職側への講義という形での内容が多かったが、介護職側から医療側への情報共有はどうか。介護保険や介護に関する制度、退院後に在宅介護をしていくための流れ、在宅でもできることなど、介護職側として情報共有したい内容は多くある。

在宅から緊急入院となりその後の退院場所として在宅ではなく施設を選ぶ人が多いが、在宅でも必要なサービスを使いながらであれば生活ができるということもアピールしたい。ただ、家族が在宅では介護できないと判断すると施設を紹介するしかないという事情もある。また、サービスを入れても家族の支援がないと在宅での生活が続けることはできない。家族へのサポートも重要になってくる。

#### 6.2 部会活動での意見等、次回の会議開催について

令和 8 年 1 月も部会を開催し、研修会の内容について検討していく。

【閉会】 20 : 15